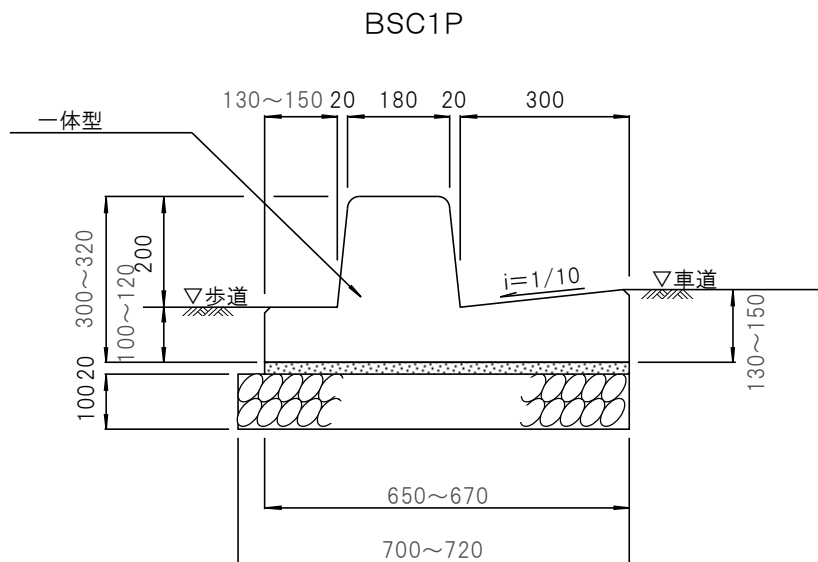
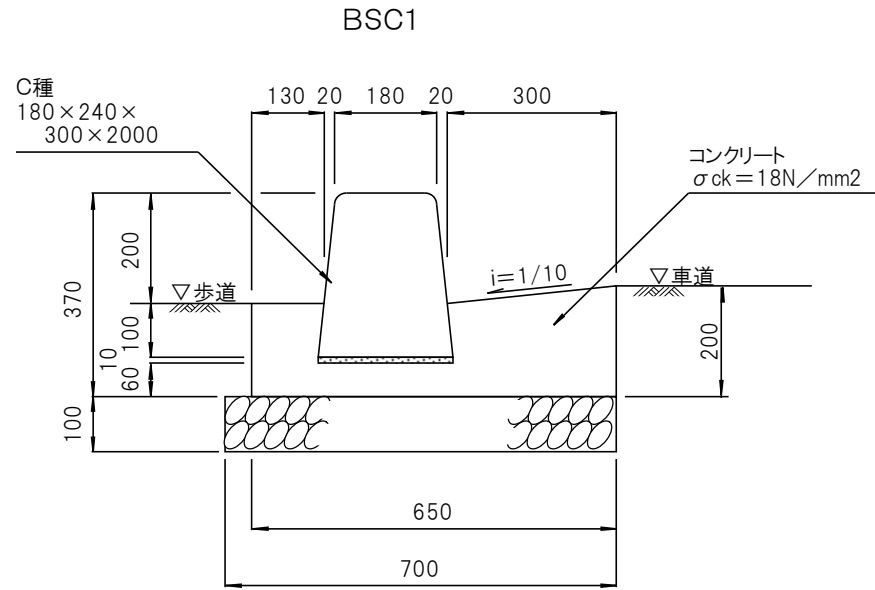


歩車道境界ブロック(フラットタイプ) BSC1



注意事項

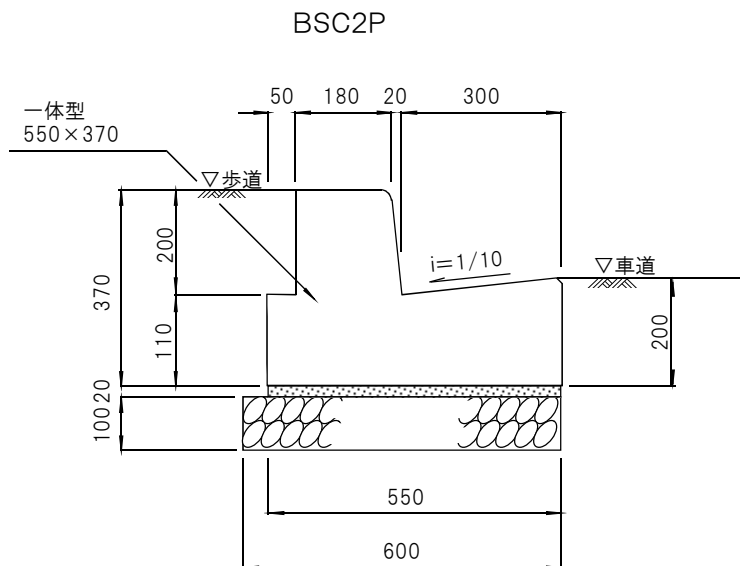
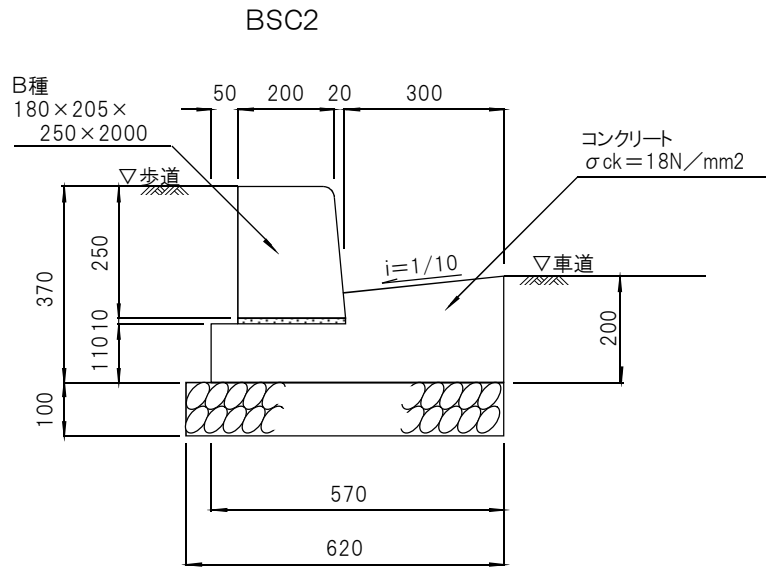
1. 境界ブロックは、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。
2. BSC1の境界ブロックは、JISA 5371 附属書B (規定) 舗装・境界ブロック類 推奨仕様B-2 両面歩車道境界ブロック (C種) 同等品とする。
3. 境界ブロックのコンクリート圧縮強度は $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上とする。
4. 水抜孔の間隔は、製品長 2000mm 及び 1000mm の場合は 4.0m、製品長 600mm の場合は 3.6m を原則とする。
5. BSC1のコンクリートの目地は、製品長 2000mm の場合 (標準) は製品 4個に 1箇所、製品長 600mm の場合 (曲線部等) は製品 10個に 1箇所を原則とする。
6. 境界ブロック間の目地幅は 5mm を原則とする。

材料表

(10m当たり)

種類	材料表					
	境界ブロックC種 L2000orL600 (個)	境界ブロック(一体型) L2000orL1000 (個)	コンクリート $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$ (m^3)	型枠 小型構造物 (m^2)	敷きモルタル 1:3 (m^3)	基礎材 RC-40 (m^2)
BSC1	5.0or16.5	—	0.896	3.700	0.024	7.000
BSC1P	—	5.0or10.0	—	—	0.130~0.134	7.000~7.200

歩車道境界ブロック(マウンドアップタイプ) BSC2



注意事項

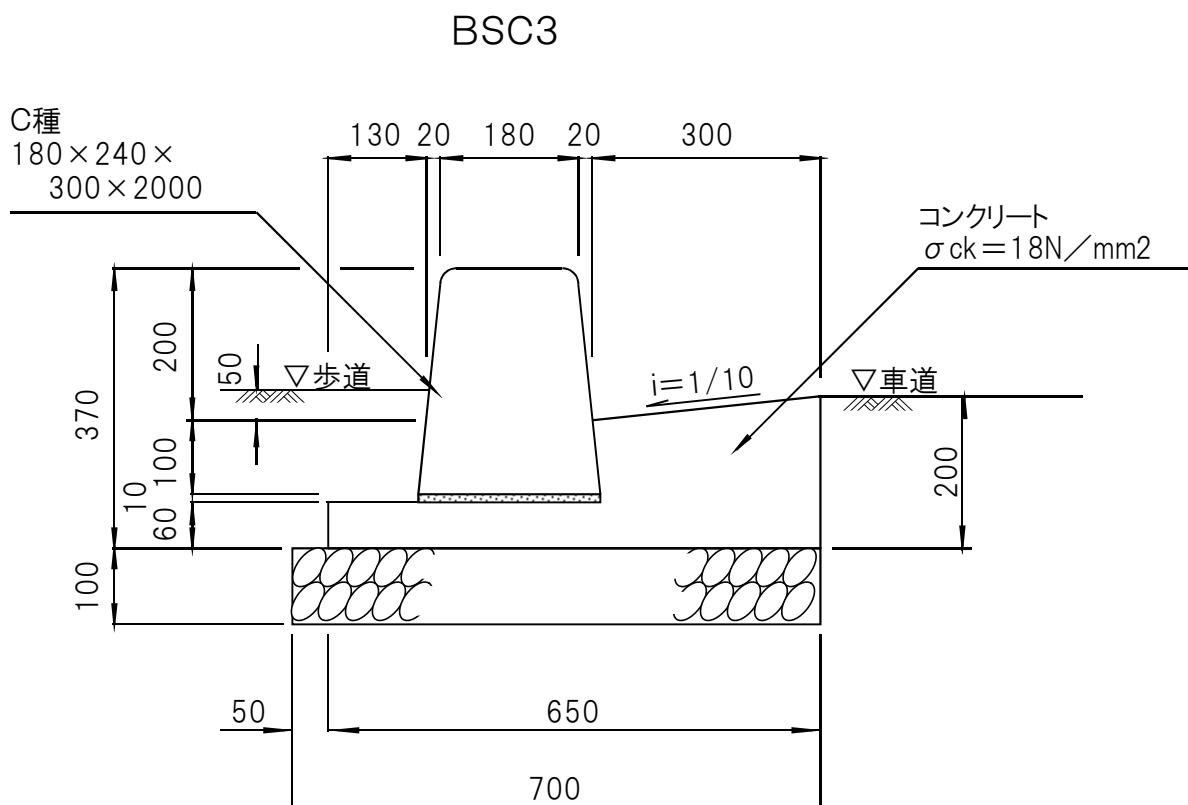
1. 境界ブロックは、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。
2. BSC2の境界ブロックは、JISA 5371 附属書B (規定) 舗装・境界ブロック類 推奨仕様B-2 片面歩車道境界ブロック (B種) 同等品とする。
3. 境界ブロックのコンクリート圧縮強度は $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上とする。
4. BSC2の基礎コンクリートの目地は、製品長2000mmの場合 (標準) は製品4個に1箇所、製品長600mmの場合 (曲線部等) は製品10個に1箇所を原則とする。
5. 境界ブロック間の目地幅は5mmを原則とする。

材料表

(10m当たり)

種類	材料表					
	境界ブロックB種 L2000orL600 (個)	境界ブロック(一体型) L2000orL1000 (個)	コンクリート $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$ (m^3)	型枠 小型構造物 (m^2)	敷きモルタル 1:3 (m^3)	基礎材 RC-40 (m^2)
BSC2	5.0or16.5	—	0.828	3.100	0.021	6.000
BSC2P	—	5.0or10.0	—	—	0.131	6.000

歩車道境界ブロック(セミフラットタイプ) BSC3



注意事項

1. 境界ブロックは、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。
2. 境界ブロックは、JIS A 5371 附属書B (規定) 舗装・境界ブロック類 推奨仕様B-2 両面歩車道境界ブロック (C種) 同等品とする。
3. 境界ブロックのコンクリート圧縮強度は $\sigma_{ck}=24\text{N}/\text{mm}^2$ 以上とする。
4. 水抜孔の間隔は、製品長 2000mm の場合は 4.0m、製品長 600mm の場合は 3.6m を原則とする。
5. コンクリートの目地は、製品長 2000mm の場合 (標準) は製品 4個に 1箇所、製品長 600mm の場合 (曲線部等) は製品 10個に 1箇所を原則とする。
6. 境界ブロック間の目地幅は 5mm を原則とする。

材料表

(10m当たり)

種類	材料表				
	境界ブロックC種 L2000orL600 (個)	コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$ (m^3)	型枠 小型構造物 (m^2)	敷きモルタル 1:3 (m^3)	基礎材 RC-40 (m^2)
BSC3	5.0or16.5	0.765	2.600	0.022	7.000